



平成19年11月1日
 発行：美浜区地域福祉計画
 推進協議会事務局
 美浜区真砂5-15-2
 (美浜保健福祉センター
 保健福祉サービス課)
 電話：270-3168

地域福祉計画と地域福祉計画推進協議会

「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らす」…これは多くの方に共通する願いでしょう。その実現のためには、行政による保健福祉サービスだけではなく、地域住民、町内自治会、民生委員児童委員、社協地区部会、NPO、ボランティア、社会福祉事業者等、多くの方が協力、連携して、「地域で支え合う力」を高めていく必要があります。

千葉市では、地域における保健福祉を中心とした活動をより積極的に推進するため、多くの住民の参加により、平成18年度から平成22年度までの5ヵ年計画で「市地域福祉計画」「区地域福祉計画」を策定しました。同時に、区地域福祉計画を地域住民が主体的に実践する環境づくりを進めるために「区地域福祉計画推進協議会」(以下、推進協)を設置しました。

平成18年度、美浜区推進協では5回の会議で、美浜区地域福祉計画に関する、地域の事例発表や情報交換、意見交換等、31人の委員による活発な議論が行われました。平成19年度も引き続き、「情報のプラットフォーム」としての役割を担っていきます。

6月2日に開催された、平成19年度第1回の推進協では、委員の互選により、委員長に飯野委員、副委員長に小椋委員が選任されました。現在は、委員が地域福祉計画の内容をより深く理解するために、テーマ別の「グループ会議」を置き、議論を深めています。



19年度第2回会議の様子

～美浜区地域福祉計画推進協議会 委員名簿(平成19年度)～ 50音順、敬称略

氏名	所属団体等	氏名	所属団体等
1 相澤富代	公募	12 高橋孝介	公募
2 飯野勝衛	公募	13 長岡正明	公募
3 池田孝子	千葉市民生委員・児童委員協議会	14 長倉祐作	美浜区町内自治会連絡協議会
4 内田圭二	千葉市老人クラブ連合会	15 成田英雄	社会福祉協議会真砂地区部会
5 大坪典子	千葉市民生委員・児童委員協議会	16 二宮紀武	公募
6 小椋政子	千葉市ボランティア連絡協議会	17 別所康宏	社会福祉協議会磯辺地区部会
7 桑原啓輔	社会福祉協議会幸町1丁目地区部会	18 光延忠彦	公募
8 齋藤全右	公募	19 村社和雄	公募
9 佐々木貞子	公募	20 矢野尤子	身体障害者小規模授産施設 joy
10 佐藤明	美浜区町内自治会連絡協議会	21 山崎徳造	社会福祉協議会高洲高浜地区部会
11 鈴木幽香子	株式会社ケアグリーン	22 吉岡靖之	美浜区町内自治会連絡協議会

美浜区地域福祉計画の概要

基本目標

みんなが主役！ ころろ豊かな^{まち}美浜づくり

美浜区地域福祉計画は、基本目標をもとに、4つの基本方針、15の施策の方向性、39の今後の取り組みで構成されています。

基本方針	施策の方向性と今後の取り組み
市民主体による協働のまちづくり	1 町内自治会・社協地区部会・NPO等による地域住民の生活支援 (1) コミュニティビジネスによる地域住民の生活支援 (2) 小学校区を単位とした「地域福祉まちづくり会議」の設置
	2 安心、見守り体制の構築 (3) 地域を支え合う「あんしん支え合いネット」の構築 (4) 学校と地域の連携した防災訓練の実施 (5) 災害発生時の対応マニュアルの整備
	3 地域の世話役づくり (6) 地域福祉を推進する地域活動団体の連携強化 (7) 新しい近隣づくり活動
	4 市民に身近な公的支援 (8) 区役所の機能の活用と窓口サービスの向上
必要な情報が、いつでも得られ相談できるシステムづくり	5 情報発信の強化 (9) コンビニ・郵便局等での福祉サービス情報の提供 (10) 回覧板の電子データ送付、インターネットでの掲示 (11) 市政だよりの対象者別翻訳版の作成 (12) 福祉サービス情報提供の携帯メール活用
	6 身近な相談者の確保 (13) 民生委員・児童委員と地域組織との協力体制の充実 (14) 支援を必要とする人(要支援者)とのコミュニケーション
	7 相談窓口の機能強化 (15) 相談履歴の電子化 (16) 相談窓口への補助員配置 (17) あんしんケアセンター(地域包括支援センター)の設置

基本方針	施策の方向性と今後の取り組み
誰でも暮らしやすい環境づくり	8 地域での定住、在宅での安心した暮らしの確保 (18) 住宅の耐震補強、バリアフリー化 (19) 高齢者世帯等の住み替えの支援 (20) コレクティブハウジングなどの多様な住まいの設置促進 (21) 障害者・高齢者の地域での雇用促進 (22) 地域ケアセンター機能の検討 (23) 在宅医療福祉の充実
	9 居場所、交流の場づくり (24) 小中学校の余裕教室・空き教室活用 (25) フリースペースの確保と運営管理体制の検討 (26) 町内自治会、公営住宅、民間集合住宅の集会所の活用 (27) 空き家、空き店舗を活用したコミュニティスペースの提供
	10 交通手段の充実 (28) 福祉バス、低床バス、移送サービスの導入
福祉を支える仕組みづくり人づくり	11 社会福祉協議会の機能強化 (29) 地域福祉権利擁護事業の充実 (30) 成年後見制度の利用支援
	12 災害時における要介護者の避難支援 (31) 障害者・要介護者の避難訓練の実施及び避難場所の体制作り (32) 災害発生時の介護サービス事業者による要介護者、要支援者の安否確認、障害者の通所施設事業者による障害者の安否確認
	13 「福祉意識の醸成」・「人権意識の確立」 (33) 障害を持つ人があたりまえに暮らすことの保障 (34) 高齢者・児童虐待予防 (35) 福祉教育の充実 (36) プライバシーを尊重した福祉活動の推進
	14 ボランティアセンターの機能強化 (37) 美浜区ボランティアセンターの機能の充実 (38) ボランティアリーダーの養成
	15 総合的な福祉施策の推進 (39) 市民参加条例制定と条例に基づく各種施策の推進

美浜区地域福祉計画及び推進協議会だより（既刊号含）は、市ホームページ（<http://www.city.chiba.jp/>）でご覧になれるほか、市政情報室（中央コミュニティセンター2階）、市図書館などで閲覧できます。また、千葉市政出前講座をご利用いただければ、所管職員が地域の集会等にかがってご説明いたします。

推進協議会グループ会議

推進協では、39の取組項目の中からいくつか選択し、委員がグループに分かれて会議を行うことになりました。アンケートにより、最初に検討する項目が選ばれ、第1回グループ会議は、3グループ合同で7月7日に行い、それぞれ座長、副座長の選任、今後の予定等を話し合いました。また、第7回（平成19年度第2回）推進協で、グループ会議の進捗状況が報告されました。

第1グループ

施策の方向性1 町内自治会・社協地区部会・NPO による地域住民の生活支援

第2回グループ会議 8月25日（土）

検討内容：地域における自治会等の存在や関わりについて

- ・自治会は地域コミュニティ形成の核となっているが、近年、近隣との付き合いを好まず、自治会に無関心な住民もいるなど、自治会のない地域が増えてきている。
- ・一方、既存自治会でも、役員の成り手、担い手がいない、高齢化しているなどの問題がある。
- ・自治会活動がより豊かに充実し、近隣同士のコミュニケーションが深まれば、美浜区地域福祉計画にある第1グループの課題の多くは対応できるようになるのではないかと。

今後の検討課題

- ・自治会では、地域の諸団体と連携し、地域の課題に取り組んでいるか。また、活動内容を会員にどのように伝えているか。
- ・行政は自治会に対してどのような支援をしているか。また、未設置地区にどのような取り組みをしているか。



第2グループ

施策の方向性9 居場所、交流の場づくり

第2回グループ会議 8月5日（日）

検討内容と今後の課題

- ・地域福祉計画上で想定されている「居場所、交流の場」は学校の余裕教室、集会所、空家、空店舗等であるが、今後、具体的にどのような交流の場を作りたいかを検討し、目的を明確にした上で場所を確保していく必要がある。
- ・場所を提供する側にとっても、利益になるということを積極的に伝えていく必要がある。



第3グループ

施策の方向性11 社会福祉協議会の機能強化

第2回グループ会議 8月24日（金）

検討内容と今後の課題

- ・地域福祉計画上の取組事項にある、地域福祉権利擁護事業や成年後見支援制度のほか、地域で起きた高齢者の孤独死の話題になり、警察や民生委員との連携のあり方、日常的な見守りネットワークの重要性について意見交換が行われた。

